

令和5年（2023年）7月5日
午後0時45分～午後1時30分
於：高層棟3階 災害対策本部会議室
都市計画部 計画調整室
土木部 地域整備推進室

令和5年度 第2回企画会議 上の川周辺整備事業の対象範囲の拡張検討について

現在、事業実施中の上の川周辺整備事業について、上の川を暗渠化することにより創出される空間を活用し整備する遊歩道の延伸及び踏切拡幅等、対象範囲を拡張する方向性を確認するものです。

1 概要

平成30年度（2018年度）に開催した企画会議で、府道の歩行空間の不足等の課題があった上の川周辺地域について、河川空間等を活用した上の川周辺のまちづくりの方針を確認し、令和元年度（2019年度）に開催した政策会議で、上の川周辺整備事業を推進することとしました。

現在、府道のうち特に歩行空間の狭小な上ノ川橋から蓮華寺橋までの約300m区間（以下「事業中区間」という。）及び花壇踏切（円山町1号橋）について、上の川を暗渠化し創出された上部空間を利用したまちづくりを府市連携により実施中です。

しかし、下記①、②のとおり、事業中区間以外の区域においても解決すべき課題があります。

- ① 事業中区間と花壇踏切事業実施箇所の間部分である蓮華寺橋から花壇踏切（円山町1号橋）までの約350mの区間（以下「延伸検討区間」という。）

府道について十分な歩行空間が確保されておらず、第2次みどりの基本計画の方針である、みどり豊かなネットワークとしては機能が脆弱である。

- ② 並行する阪急電鉄株式会社の踏切部分である大学踏切（円山町2号橋）幅員不足等の地域課題がある。

よって、上記①及び②を事業拡張区域とし、遊歩道の延伸及び踏切拡幅等について、本市が主体となって検討を進めようとするものです。

2 事業目的及び効果

（1）事業目的

第2次みどりの基本計画において、みどりの拠点である関西大学とみどりの骨格である神崎川を結ぶネットワークとして位置づけられている上の川において、みどり豊かで安心・安全でにぎわいあるまちづくりの一端を担う歩行空間を延伸するとともに、大学踏切（円山町2号橋）の幅員不足の解消等、通行の安全性及び利便性

の向上を目的としています。

(2) 主な事業効果

- ア 歩行空間の連続性確保による交通ネットワークの向上
- イ ウォーキング利用を通じた健康増進
- ウ 阪急豊津駅から阪急関大前駅までの賑わい創出
- エ 阪急関大前駅の通学時間帯等における混雑緩和
- オ 発災時の避難ルートとしての活用

3 本市が主体となって検討する理由

事業拡張区域の府道については狭小な部分は存在するものの、一定の歩行空間は確保されているため、大阪府としては当該箇所の整備の優先度は低いと判断されています。しかし、本市としては長年の地域課題の解決とまちづくりの推進のためには事業拡張区域の整備が重要であることから、府市連携事業を実施中である現在の機会を捉え、本市が主体となって検討を進めるものです。

4 主な検討内容等

(1) 延伸検討区間

ア 現状

- (ア) 令和5年6月 関係機関（大阪府・阪急電鉄株式会社等）に協議申入れ
- (イ) 同年 8月 延伸検討業務契約締結予定

イ 今後の検討内容

- (ア) 遊歩道延伸等を可能とするために必要な条件整理
- (イ) 整備方針
- (ウ) 整備費用算出

(2) 大学踏切の拡幅

ア 現状

- (ア) 令和5年5月 阪急電鉄株式会社と課題の共有、踏切拡幅の条件確認
- (イ) 同年 10月 都市機能検討事業（まちづくり検討業務）委託契約締結予定
大学踏切拡幅等についての検討を行う

イ 今後の検討内容

- (ア) 歩行者ネットワークの形成に向けた技術的検討
- (イ) その他、踏切拡幅に必要な条件整理

5 想定事業費

約30億円（遊歩道延伸）

※大学踏切拡幅については、今後の検討を進めていくなかで算出します。

6 今後の予定

年度	延伸検討区間	大学踏切
令和5年度（2023年度）	企画会議、検討業務	企画会議、検討業務
令和6年度（2024年度）	予備設計業務	延伸検討区間と一体的な整備を目標として検討、調整を進める。
令和7年度（2025年度）	詳細設計業務	
令和8年度（2026年度）	工事着手	
令和11年度（2029年度）	工事完成	